

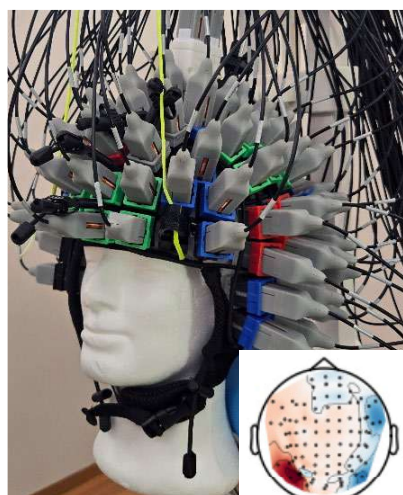
実験室から日常までを対象とする先進的脳活動計測技術

概要

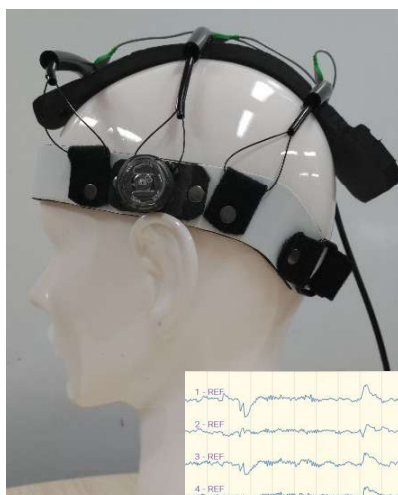
磁気共鳴画像(MRI)装置、脳磁図計測装置、ウェアラブル脳波計を所有し、これらを利用した高度な計測技術を確立。精密な脳活動計測が必要な基礎的な研究から、日常環境での応用研究、技術実証まで一貫通貫に実施可能。



機能的MRIによるサブミリメートルオーダーの脳活動計測を実現



日常に近い状態での脳活動計測を実現しうる光ポンピング磁気センサによる脳磁図計測装置を導入



ウェアラブル脳波計による、日常環境での脳活動計測を実現

より
精密に

より
自由度
高く

特徴

- 0.4mmの高空間分解能を実現する機能的MRI計測法やマイクロ秒オーダーで同期できる脳波計など独自の計測技術を開発。

ユースケース

- 脳の微少な領域での活動を計測する基礎研究
- 様々な計測装置を使ったマルチモーダル計測による脳活動データベースの構築
- 日常環境を想定した応用研究

今後の展開

- 脳活動計測法のさらなる高度化
- 実験室から日常までの幅広い環境での人間の行動や心的状態に関連する脳活動データベースの構築
- エビデンスに基づいたニューロテクノロジー技術開発

【お問合せ先】

未来ICT研究所脳情報通信融合研究センター脳機能解析研究室 成瀬康
Mail : y_naruse@nict.go.jp

NICTオープンハウス2026

Copyright © 2026 NICT All Rights Reserved.